

5 自然災害に対する備え

○防災への工夫

地震や豪雨などによる災害への取り組み

→災害による被害が及ぶのを防ぐ(**防災**)や、被害をできるだけ少なくする(**減災**)など

(**南海トラフ**)の巨大地震への備え

→建物や橋を地震の揺れに強くする、津波を防ぐ堤防をつくるなど

※(**南海トラフ**)とは、静岡県から高知県にかけての太平洋沖に位置するトラフのこと。トラフとは、海底の深い部分にある幅をもった溝で、海溝ほどの深さのない所のこと

(**東日本大震災**)(2011年)の教訓

→津波の避難場所のタワーの設置、防災教育、地震情報の伝え方の見直しなど

気象災害に対する備え

→ダムや河川の堤防などの設備、災害の危険地域を指定して避難場所を決定するなど

○災害への対応

災害に対する支援

→国や市区町村などの協力のもとで支援が行われる

(**公助**)とは、国や都道府県、市区町村などが災害時に被災者の救助や援助を行うこと

(**自助**)とは、災害時に自分自身や家族を守ること

(**共助**)とは、災害時に住民同士が協力して助け合うこと

→公助に頼るだけでなく、自助や共助と呼ばれる行動をとることが求められる

(**ハザードマップ**)の作成

→自助や共助のため、身近な地域の自然環境の特徴や起こりやすい災害を知る必要がある

※(**ハザードマップ**)とは、地震や河川の氾濫による被害を予測した地図のこと